

坂出市副市長の挨拶・原爆被害者の会挨拶に注目！

初めて坂出聖ドミンゴ修道女が行進！！ 本日の募金 2,300円 署名 2筆

天気予報が 30℃超の中での行進となりました。坂出市の出発式では野角満昭市議が進行。坂出市の加藤悟史副市長は「被爆 74 年、平和行進 61 年となるが『核なき世界』はほど遠い状況で、坂出市も昭和 59 年に平和都市宣言をした。今後とも力を合わせて核なき平和な社会を作っていく強い気持ちで頑張りましょう」と呼びかけ、最後に暑い中で体調に万全をと労い挨拶としました。また、楠井常夫副議長は平和行進という行動を頼もしく思っていると評価を頂き、くれぐれも事故の無いようにと祈念して締めました。香川県原爆被害者の会の好井敏彦会長は「今日全国でこの時間に平和行進の出発式が行われ、総計 100 万人が行動している、本当に世界遺産にしてもらいたい」と訴え、この行動は、四国では「お遍路」があるが、「一歩でも」の精神で草の根の世論を作ろうと呼びかけました。この出発集会には、好井会長の訴えから、初めて聖ドミンゴ教会の修道女が正装で参加されました。一言聞きたかったです。

生き返る医療生協のお接待

JR 国分駅と JR 鬼無駅には恒例となった医療生協の「お接待」が疲れた体を癒してくれます。朝の行進最後の坂を登りきった最終地での国分寺支部の皆さんの、冷茶とチョコが喉を潤します。また昼行進の JR 鬼無駅では、行進者のお好みの飲料水を差し入れ。行進者は思わず「生き返った」と感激。本当に好井会長が言う「お遍路接待」が心と体にしみわたりました。

今日の行進一番の心配は「暑さ」でしたが、高松市に行進が入り最初の到着地、香川県庁に時間どおりに到着しました。大庭康博広聴広報課課長が「核なき世界」の状況も厳しいが今こそ地道な平和行動が大事と強調し、残り 3 分の 2 を完遂して欲しいと激励したあと、浜田恵造知事のメッセージを代読。唯一の被爆国日本として NPT 再検討会議の前進を願いたいと期待のうえで暑い中の行進に気遣いの言葉をいただきました。

自治体との出発・終結集会ではどこでも合同での写真撮影となりました。



坂出市での出発式



香川県庁での終結集会